

月次改訂

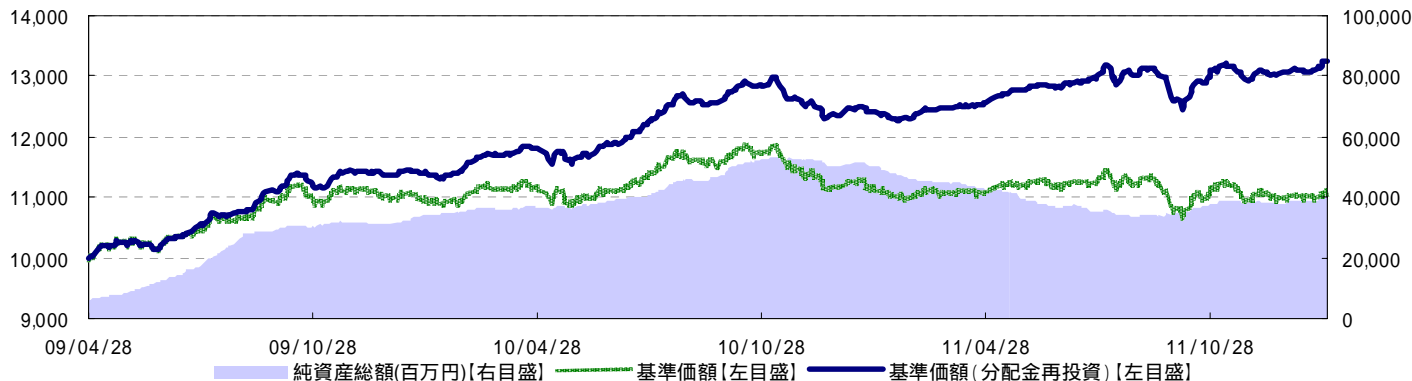
2012 / 01

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<円コース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	11,076円	10,999円	+77円
純資産総額(百万円)	40,076	38,668	+1,409

	基準価額	日付
設定来高値	11,848円	2010/10/14
設定来安値	10,000円	2009/04/28

分配金実績(税引前)

設定来累計		
1,990円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
65円	65円	65円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
65円	65円	65円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
65円	65円	65円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
65円	65円	65円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

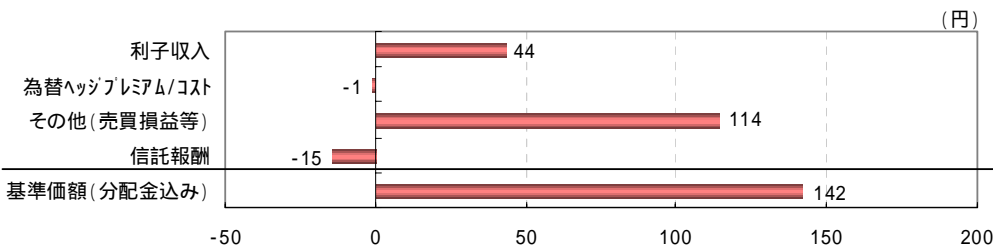
騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.30%	1.06%	1.61%	7.04%	-	32.43%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「円の短期金利(円1ヵ月LIBOR) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)あります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

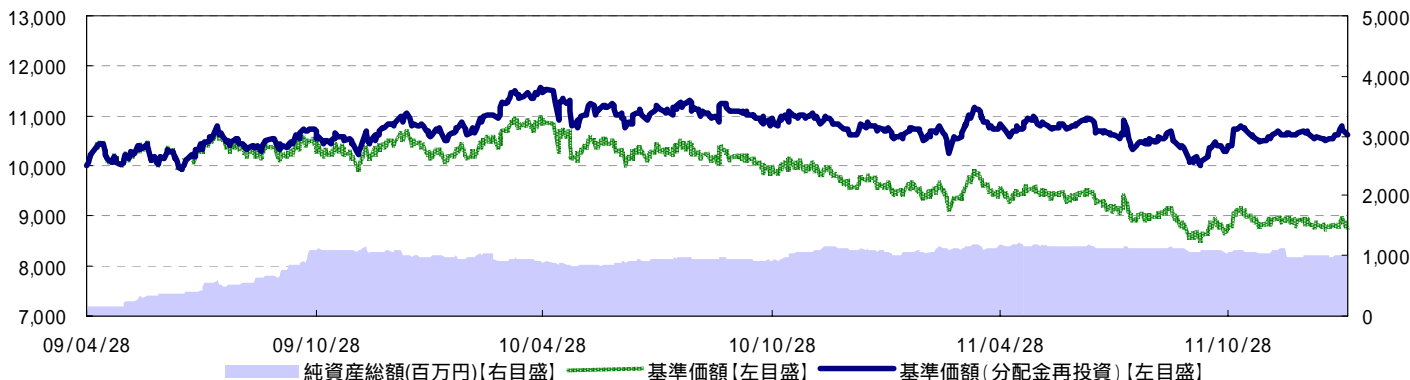
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	8,784円	8,876円	-92円
純資産総額(百万円)	987	1,014	-26

	基準価額	日付
設定来高値	10,934円	2010/04/26
設定来安値	8,500円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
1,860円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
60円	60円	60円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
60円	60円	60円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
60円	60円	60円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
60円	60円	60円

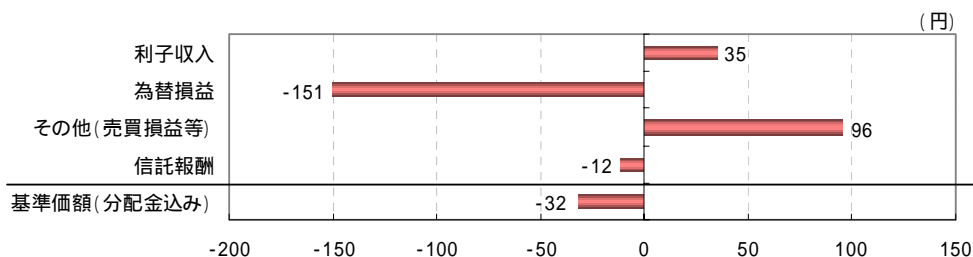
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	-0.36%	2.01%	0.03%	-0.24%	-	6.19%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)



- ・為替損益は、米ドルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。
- ・当ファンドは、為替ヘッジを行わないため為替ヘッジプレミアム/コストは発生しません。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)あります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

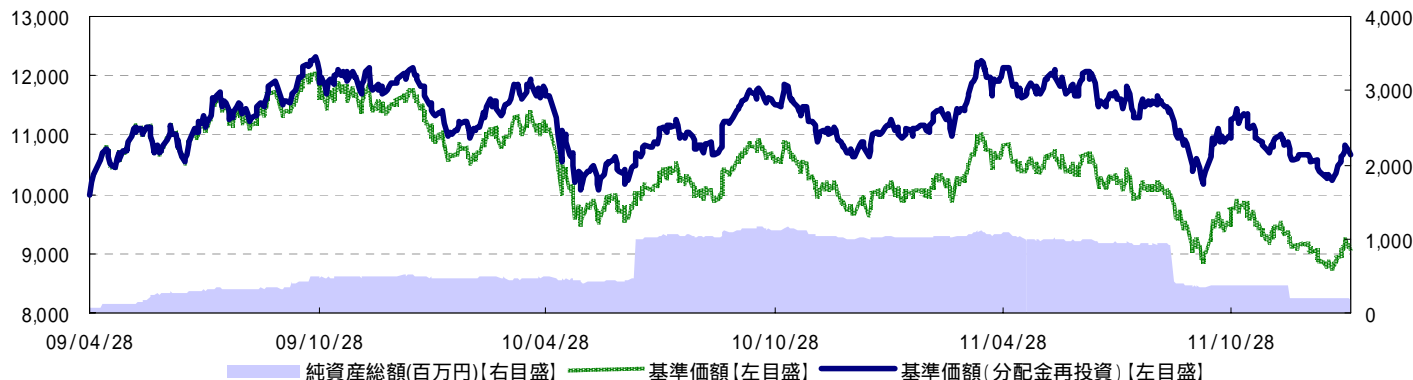
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ユーロコース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	9,087円	9,036円	+51円
純資産総額(百万円)	185	194	-8

	基準価額	日付
設定来高値	12,049円	2009/10/26
設定来安値	8,782円	2012/01/17

分配金実績(税引前)

設定来累計		
1,670円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
50円	50円	50円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
50円	50円	50円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
50円	50円	50円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
50円	50円	50円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

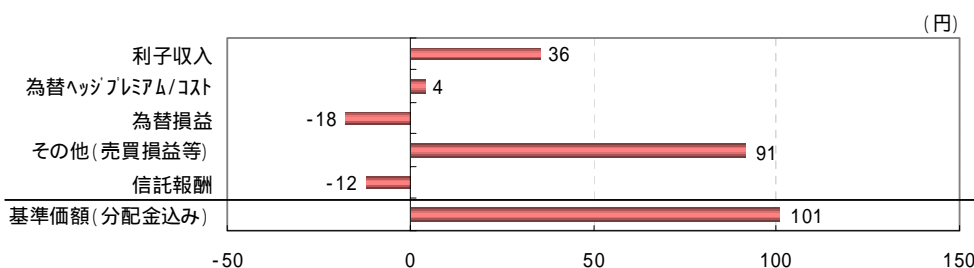
騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.13%	-5.44%	-8.12%	-3.64%	-	6.65%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



・為替ヘッジプレミアム/コストは、「ユーロの短期金利(ユーロ1ヵ月LIBOR) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
 ・為替損益は、ユーロの円に対する為替評価損益の概算値です。
 ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
 ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利息を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

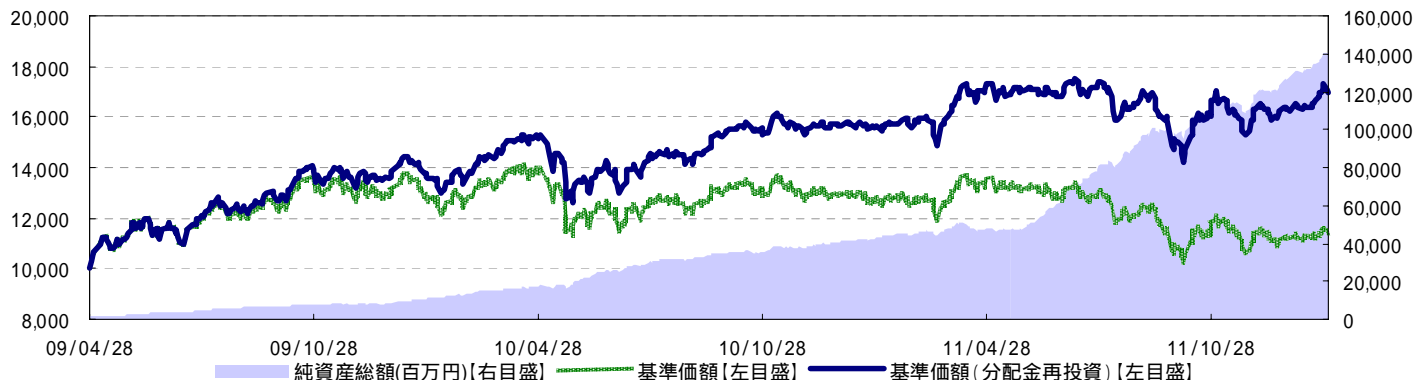
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<豪ドルコース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	11,426円	11,156円	+270円
純資産総額(百万円)	140,390	128,045	+12,346

	基準価額	日付
設定来高値	14,096円	2010/04/15
設定来安値	10,000円	2009/04/28

分配金実績(税引前)

設定来累計		
4,940円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
200円	200円	200円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
200円	200円	200円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
200円	200円	200円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
160円	160円	160円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

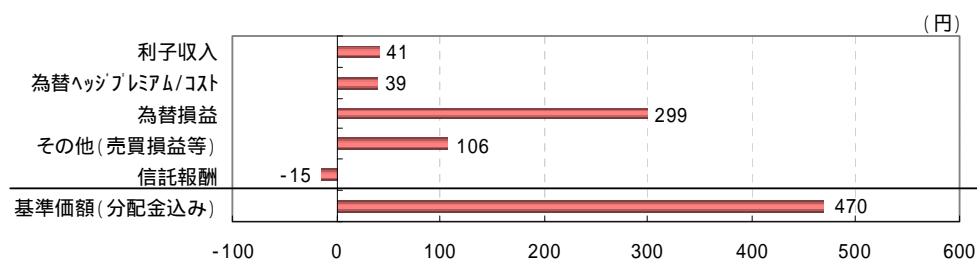
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	4.24%	1.57%	-2.60%	9.45%	-	69.67%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「豪ドルの短期金利(豪ドル1ヵ月LIBOR) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の数値とは異なります。
- ・為替損益は、豪ドルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。債券評価額には、経過利息を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

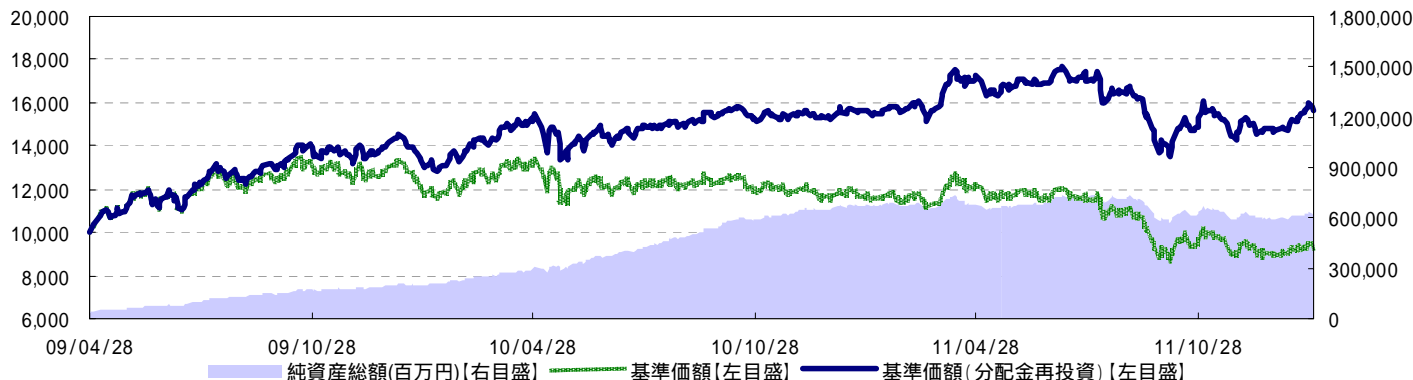
2012 / 01

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	9,300円	8,921円	+379円
純資産総額(百万円)	619,571	593,796	+25,776

	基準価額	日付
設定来高値	13,444円	2009/10/19
設定来安値	8,757円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
6,020円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
200円	200円	200円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
200円	200円	200円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
200円	200円	200円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
200円	200円	200円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

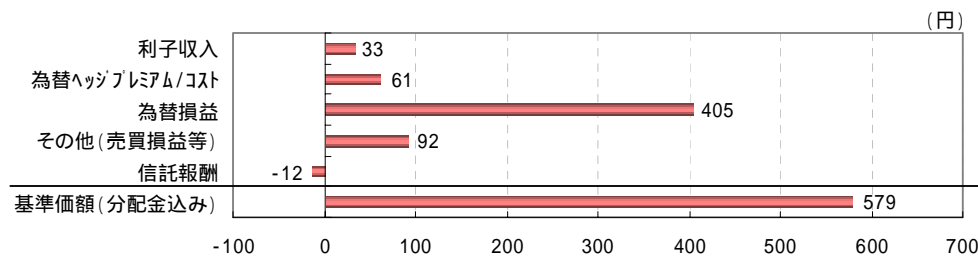
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	6.51%	0.33%	-8.08%	1.25%	-	56.48%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「ブラジルレアルの短期金利(JPMorgan ELMi+のブラジル利回り)-米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、ブラジルレアルの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

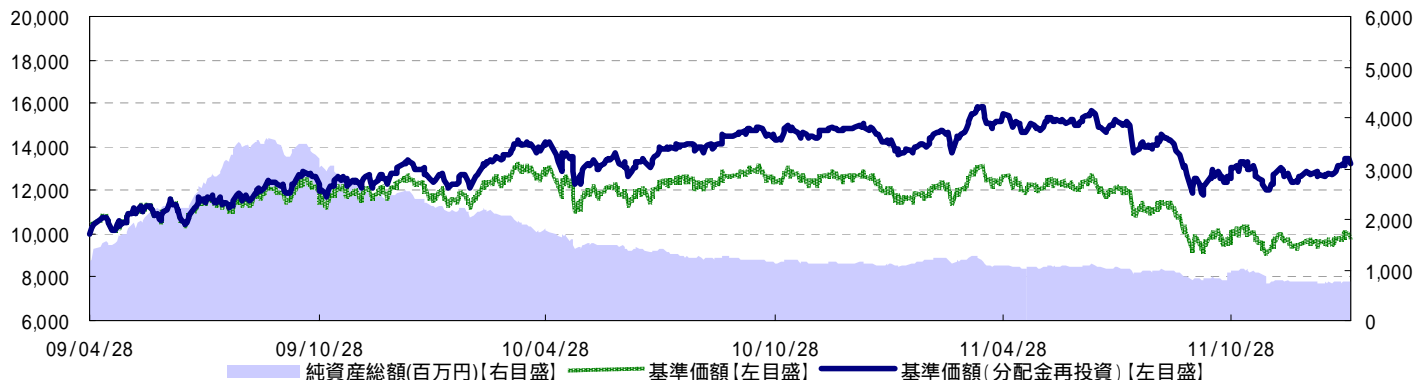
2012 / 01

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランドコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	9,857円	9,587円	+270円
純資産総額(百万円)	755	754	+1

	基準価額	日付
設定来高値	13,156円	2010/04/06
設定来安値	9,146円	2011/11/25

分配金実績(税引前)

設定来累計		
3,410円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
110円	110円	110円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
110円	110円	110円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
110円	110円	110円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
110円	110円	110円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

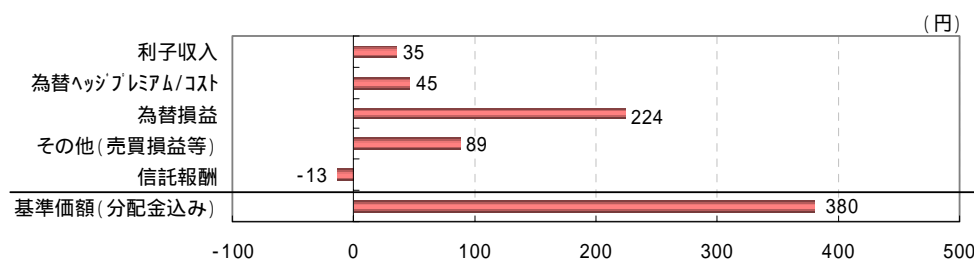
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	3.98%	1.28%	-12.77%	-4.90%	-	32.28%

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
 ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



・為替ヘッジプレミアム/コストは、「南アフリカランドの短期金利(JPモルガンELMI+の南アフリカ利回り) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
 ・為替損益は、南アフリカランドの円に対する為替評価損益の概算値です。
 ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
 ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。基準価額および分配金は1万口当たりです。債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

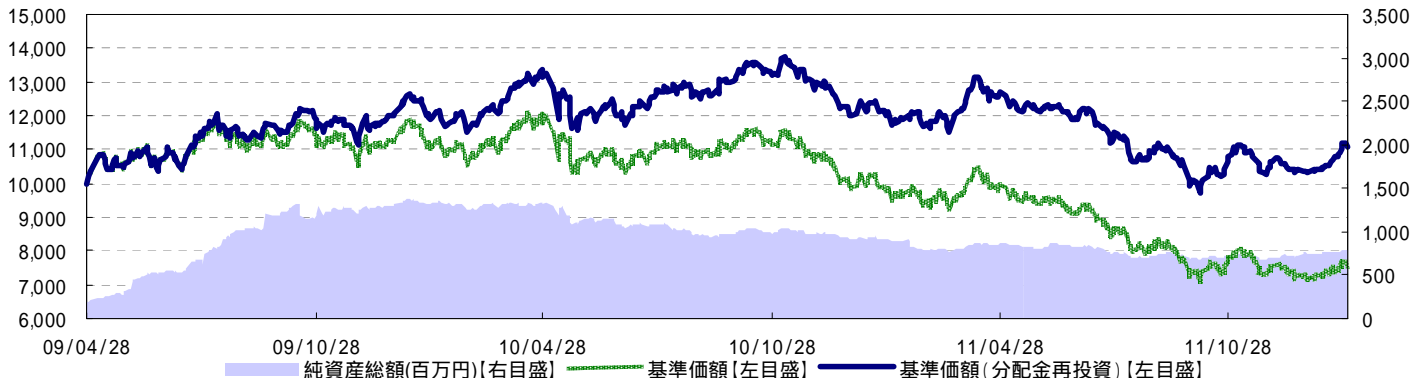
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<トルコリラコース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	7,600円	7,172円	+428円
純資産総額(百万円)	778	750	+28

	基準価額	日付
設定来高値	12,042円	2010/04/16
設定来安値	7,086円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
3,720円		
第31期 (12/01/20)	第30期 (11/12/20)	第29期 (11/11/21)
120円	120円	120円
第28期 (11/10/20)	第27期 (11/09/20)	第26期 (11/08/22)
120円	120円	120円
第25期 (11/07/20)	第24期 (11/06/20)	第23期 (11/05/20)
120円	120円	120円
第22期 (11/04/20)	第21期 (11/03/22)	第20期 (11/02/21)
120円	120円	120円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

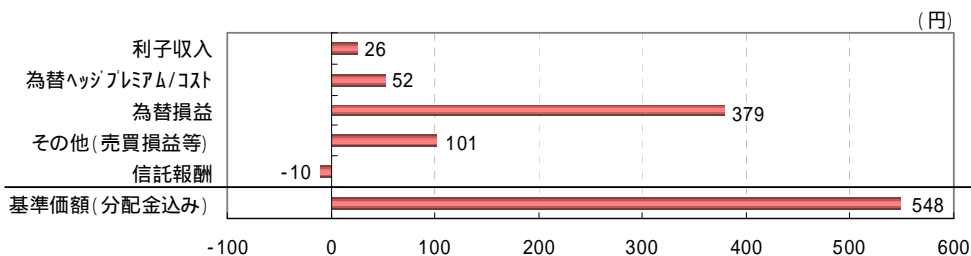
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	7.69%	2.01%	-3.72%	-5.59%	-	10.78%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「トルコリラの短期金利(JPモルガンELMI+のトルコ利回り) - ミドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、トルコリラの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

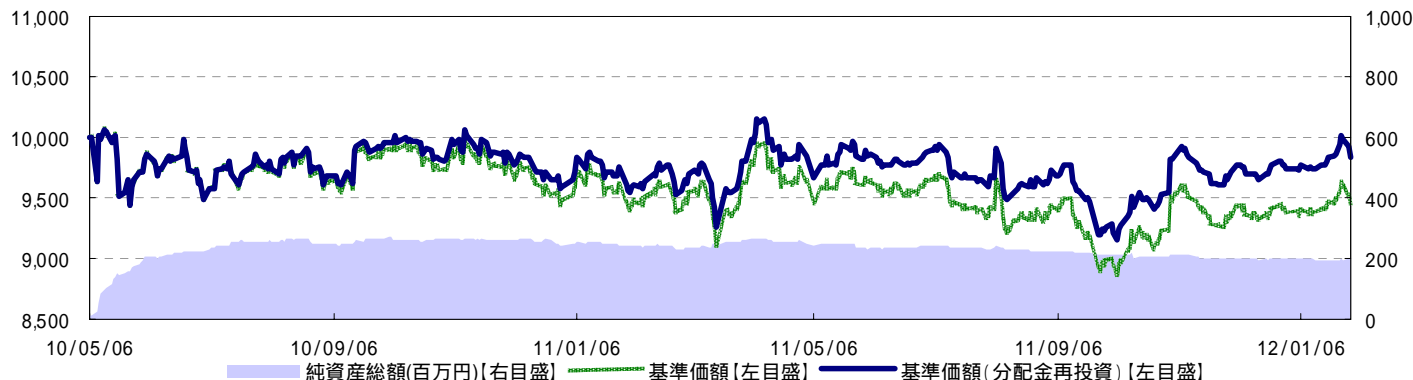
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<中国元コース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	9,450円	9,384円	+66円
純資産総額(百万円)	199	198	+1

	基準価額	日付
設定来高値	10,067円	2010/05/13
設定来安値	8,865円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
380円		
第19期 (12/01/20)	第18期 (11/12/20)	第17期 (11/11/21)
20円	20円	20円
第16期 (11/10/20)	第15期 (11/09/20)	第14期 (11/08/22)
20円	20円	20円
第13期 (11/07/20)	第12期 (11/06/20)	第11期 (11/05/20)
20円	20円	20円
第10期 (11/04/20)	第9期 (11/03/22)	第8期 (11/02/21)
20円	20円	20円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

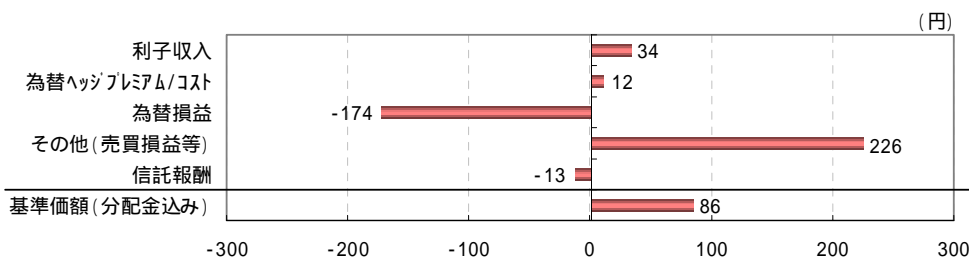
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	0.92%	3.05%	1.90%	2.41%	-	-1.66%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「中国元の短期金利(JPMオルガンELMI+の中国利回り) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、中国元の円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・其他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

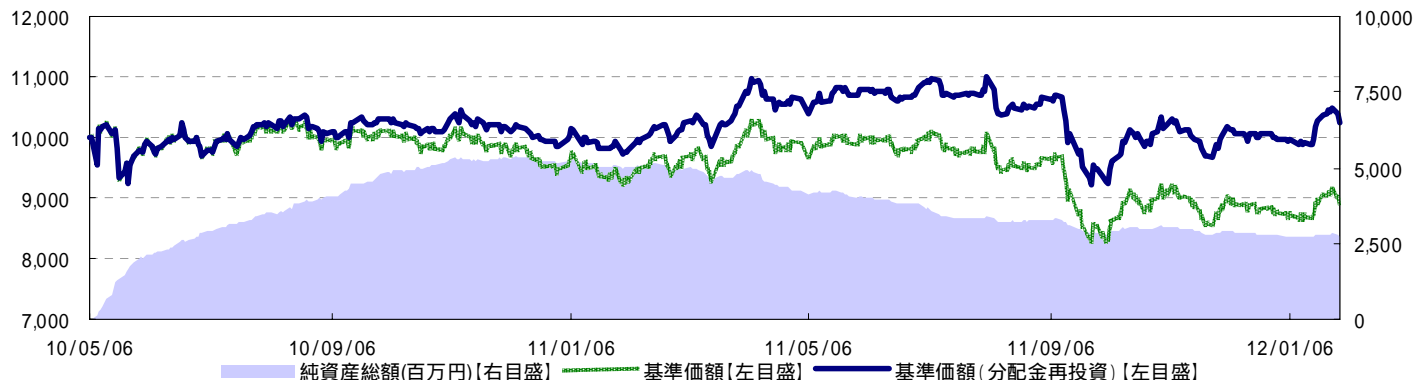
2012 / 01

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<インドネシアルピアコース> (毎月分配型)

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	8,920円	8,753円	+167円
純資産総額(百万円)	2,729	2,762	-33

	基準価額	日付
設定来高値	10,287円	2011/04/07
設定来安値	8,278円	2011/09/27

分配金実績(税引前)

設定来累計		
1,330円		
第19期 (12/01/20)	第18期 (11/12/20)	第17期 (11/11/21)
70円	70円	70円
第16期 (11/10/20)	第15期 (11/09/20)	第14期 (11/08/22)
70円	70円	70円
第13期 (11/07/20)	第12期 (11/06/20)	第11期 (11/05/20)
70円	70円	70円
第10期 (11/04/20)	第9期 (11/03/22)	第8期 (11/02/21)
70円	70円	70円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

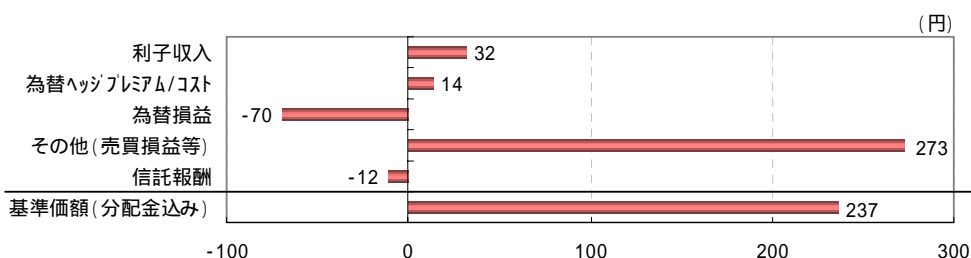
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
	2.71%	1.50%	-4.53%	4.89%	-	2.55%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「インドネシアルピアの短期金利(JPMorgan ELM)+のインドネシア利回り」-「米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、インドネシアルピアの円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利息収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み)の変動幅)と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

月次改訂

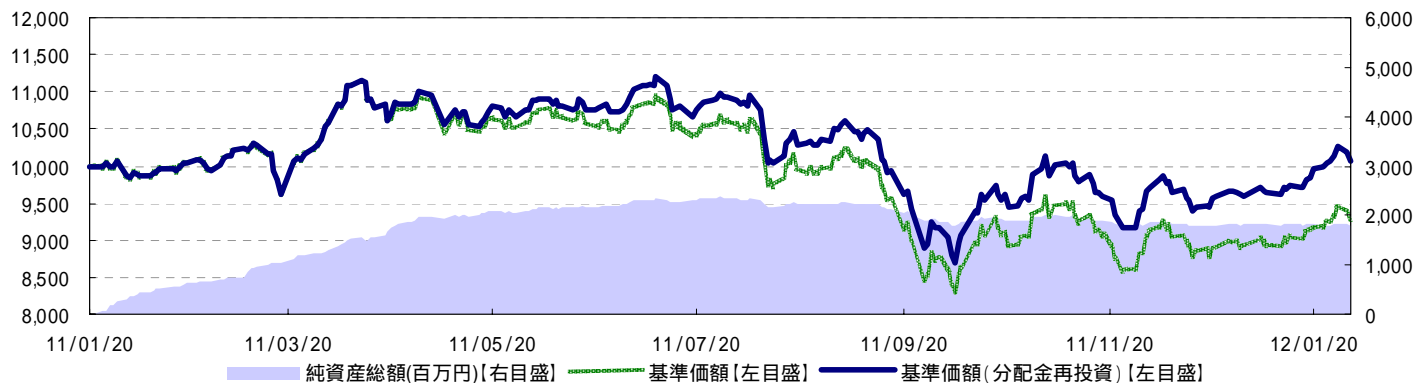
三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)

2012 / 01

追加型投信/海外/債券

運用状況等

基準価額の推移



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率1.596%(税抜1.52%))控除後の値です。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

ファンドの現況

	2012/01/31	前月末	前月末比
基準価額	9,273円	8,919円	+354円
純資産総額(百万円)	1,799	1,810	-11

	基準価額	日付
設定来高値	11,153円	2011/04/11
設定来安値	8,288円	2011/10/05

分配金実績(税引前)

設定来累計		
800円		
第10期 (12/01/20)	第9期 (11/12/20)	第8期 (11/11/21)
80円	80円	80円
第7期 (11/10/20)	第6期 (11/09/20)	第5期 (11/08/22)
80円	80円	80円
第4期 (11/07/20)	第3期 (11/06/20)	第2期 (11/05/20)
80円	80円	80円
第1期 (11/04/20)	-	-
80円	-	-

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

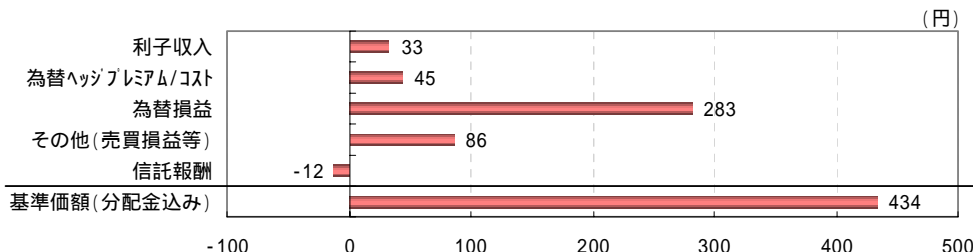
騰落率

ファンド	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	4.88%	1.07%	-7.82%	2.00%	-	0.69%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

月間の基準価額の変動要因分析(概算値)

下図の数値の一部はシミュレーションを用いているため、実際のファンドの数値とは異なります。



・資源国バスケット通貨コースにおけるバスケット通貨とは、豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドを3分の1程度ずつに組み合わせた通貨のポートフォリオです。

上図の変動要因分析は、組入債券の値動き、為替変動等が基準価額に与えた影響等をご理解いただくために簡便的に計算した概算値であり、その正確性、完全性を保証するものではありません。

- ・為替ヘッジプレミアム/コストは、「資源国バスケット通貨の短期金利(豪ドル1ヵ月LIBOR、JPモルガンELMI+のブラジル、南アフリカの利回りの平均) - 米ドルの短期金利(米ドル1ヵ月LIBOR)」(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当として簡便的に算出したものであり、実際の値とは異なります。
- ・為替損益は、資源国バスケット通貨の円に対する為替評価損益の概算値です。
- ・その他(売買損益等)は、基準価額(分配金込み)の変動幅から利子収入、為替ヘッジプレミアム/コスト、為替損益、信託報酬を差し引いて算出しています。
- ・四捨五入のため全体計(基準価額(分配金込み))の変動幅と内訳の合計が相違することがあります。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。 基準価額および分配金は1万口当たりです。 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

当ファンドが投資しているピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の運用状況

ピムコ ケイマン エマージング ボンド ファンド(M)の運用会社であるピムコ社の資料(現地月末基準)に基づき作成したものです。

利回り

	当月末	前月末	増減
最終利回り	4.54%	4.93%	-0.39%
直接利回り	5.56%	5.75%	-0.19%

- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価に基づくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

デュレーション

	当月末	前月末	増減
デュレーション	6.01年	6.10年	-0.09年

- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

債券の格付分布

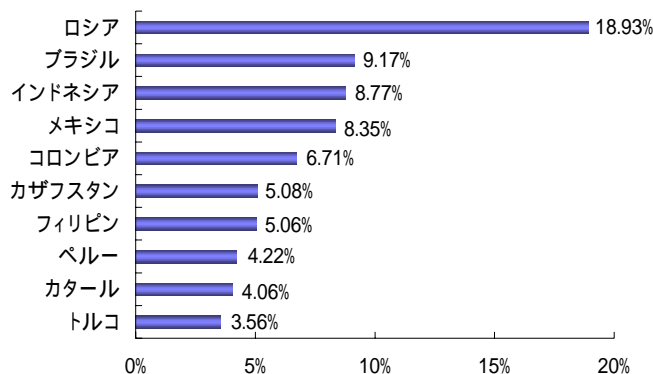
平均格付	BBB
------	-----

平均格付とは、基準日時点で当該ファンドが保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該ファンドに係る信用格付ではありません。

格付種類	比率
AAA格	0.38%
AA格	5.60%
A格	10.12%
BBB格	63.60%
BB格以下	20.30%

- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いた比率を表示しています。
- ・格付の振分基準は以下の通りです。
 - ・AAA格(AAA, Aaa)
 - ・AA格(AA+, AA, AA-, Aa1, Aa2, Aa3)
 - ・A格(A+, A, A-, A1, A2, A3)
 - ・BBB格(BBB+, BBB, BBB-, Baa1, Baa2, Baa3)
 - ・BB格(BB+, BB, BB-, Ba1, Ba2, Ba3)
- ・格付分布はS&P社、Moody's社のうち最も高い格付を採用しています。
- ・上記2社の格付を取得していない場合は、フィッチ・レーティングス社またはピムコ社による独自の格付を採用します。
- ・先物取引、スワップ取引、オプション取引を考慮して算出しているため、取引内容によってはマイナスの値が表示されることがあります。

国別組入比率(上位10ヵ国)



- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いた比率を表示しています。
- ・効率的な運用に資するため、デリバティブ取引を活用することがあります。

組入上位10銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日	格付	組入比率
1	RUSSIAN FEDERATION SR UNSEC REGS	7.500%	2030/03/31	BBB+	4.56%
2	COLOMBIA (REP OF) NT GLBL	7.375%	2019/03/18	BBB-	2.58%
3	PETROBRAS INTL FIN CO GLBL CO GTD	7.875%	2019/03/15	A-	2.15%
4	PERU (REP OF) GLBL SR UNSECURED	8.750%	2033/11/21	BBB	1.84%
5	PERU (REP OF) GLOBAL	7.350%	2025/07/21	BBB	1.22%
6	INDONESIA (REP OF) BD REGS	6.875%	2018/01/17	BBB-	1.17%
7	REPUBLIC OF TURKEY SR UNSECURED	5.125%	2020/05/18	BB	1.10%
8	RUSSIAN RAILWAYS LPN EMTN	5.739%	2017/04/03	BBB+	1.10%
9	RSHB CAPTL SA NT REGS	9.000%	2014/06/11	BBB+	1.09%
10	INDONESIA (REP OF)	11.625%	2019/03/04	BBB-	1.07%

- ・比率は実質組入債券評価額に対する割合です。
- ・現金同等資産(米国短期国債等)を除いて表示しています。

表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。
 基準価額および分配金は1万口当たりです。
 債券評価額には、経過利子を含めて(利含み)おります。

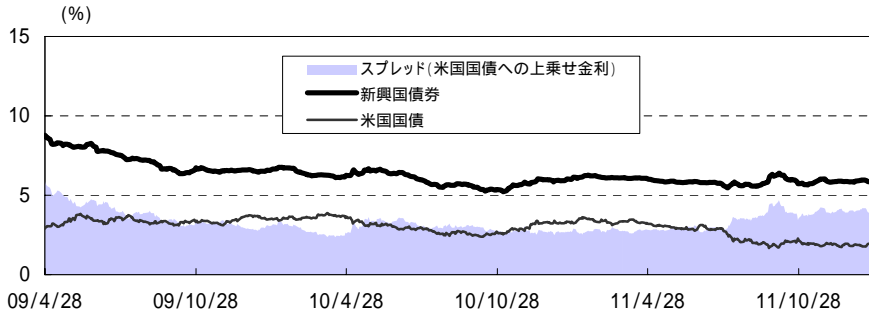
後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

【参考】

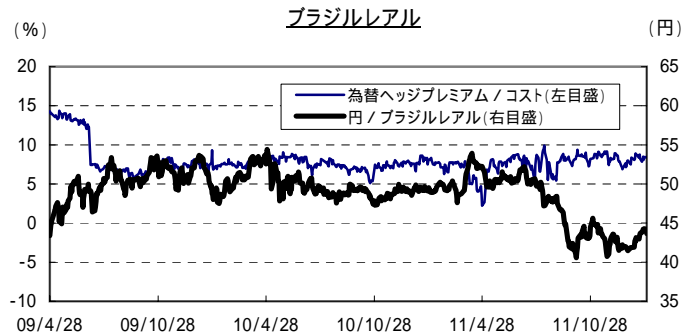
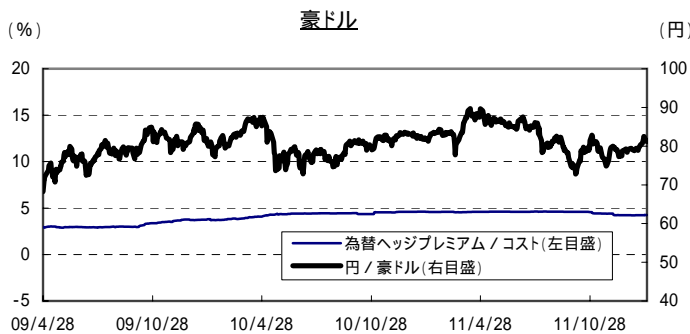
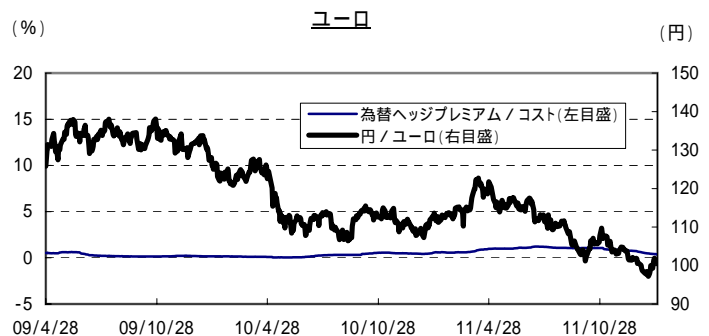
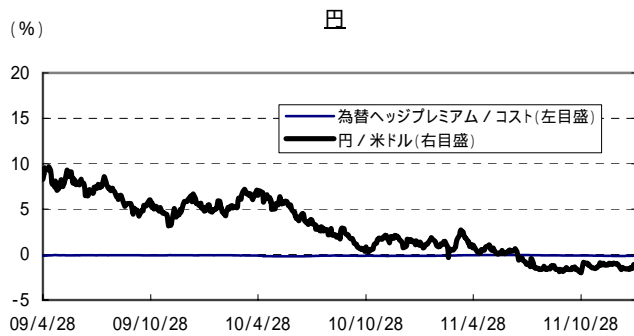
- ・グラフは、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
- ・為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストの値は、当ファンドの各コースの実際的为替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストとは異なります。
- ・当ファンドの各コースの実際的利回りは新興国債券の組入比率や投資銘柄、市場環境、為替ヘッジ比率等の要因により変動しますので、下記の利回りとは異なります。

米ドル建新興国債券と米国国債の利回り推移



・Bloombergのデータに基づき作成
 新興国債券利回り: J.P.モルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドの最終利回り…
 スプレッド: J.P.モルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドのスプレッド…
 米国国債利回り: 新興国債券の最終利回りからスプレッドを控除した利回り…
 ・J.P.モルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している米ドル建ての新興国債および国債に準じる債券のパフォーマンスを表す指数で、指数構成国の組入比率に調整を加えた指数です。
 ・J.P.モルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイドは、当ファンドのベンチマークではなく、運用実績を示すものではありません。

対象通貨の為替ヘッジプレミアム/コスト(シミュレーション)と為替レート推移



- ・為替ヘッジプレミアム/コストは対象通貨と米ドルの短期金利の金利差(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当。
- ・対象通貨と米ドルの短期金利: 米ドル、円、ユーロ、豪ドルは1ヵ月LIBOR(DataStreamのデータに基づき作成)、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、中国元、インドネシアルピアはJ.P.モルガンELMI+の利回り(Bloombergのデータに基づき作成)。
- ・資源国バスケット通貨(合成通貨値)は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの各変動率の平均を指数化(2009年4月28日 = 100)したものです。
- ・J.P.モルガンELMI+とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。
- ・為替は、ブラジルレアル、中国元についてはシティバンクの公表レートを、トルコリラについてはゴールドマン・サックス証券株式会社の公表レートを、それ以外の通貨については三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)をそれぞれ使用しております。

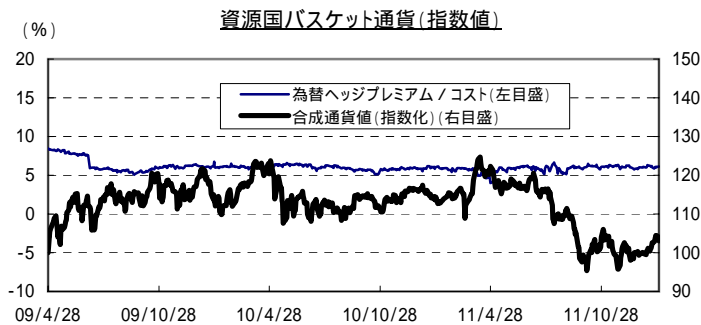
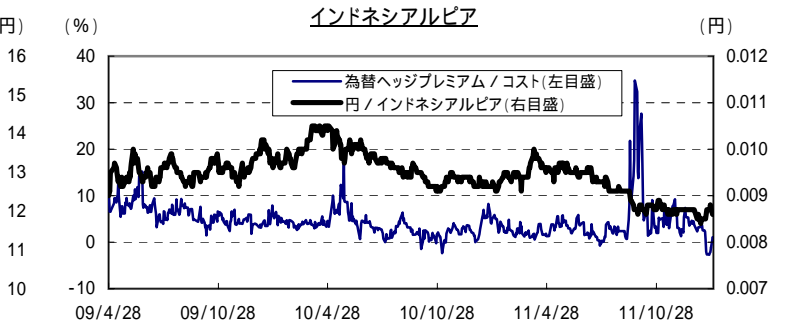
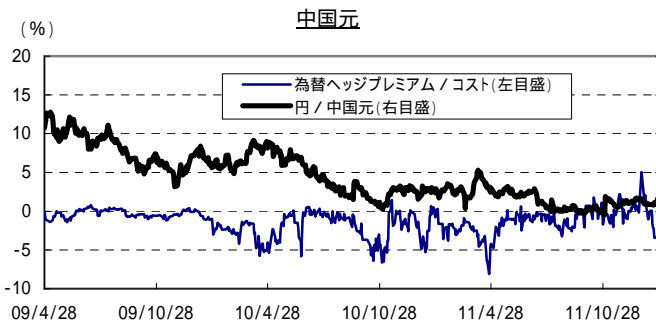
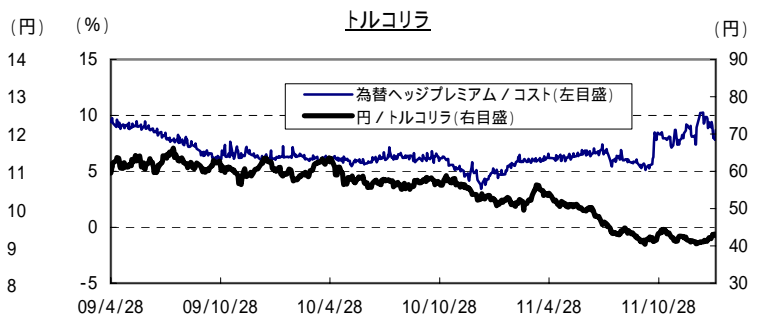
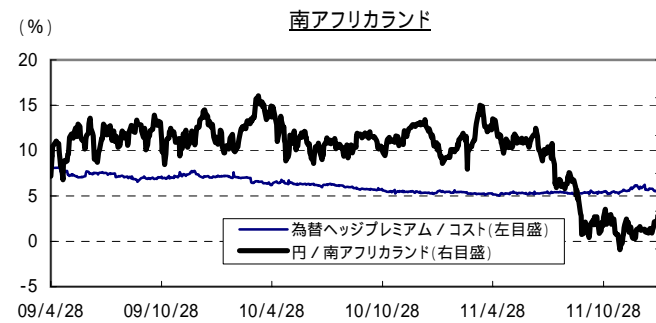
後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ新興国債券ファンド通貨選択シリーズ

【参考】

・グラフは、過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果等を示唆・保証するものではありません。
 ・為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストの値は、当ファンドの各コースの実際の為替ヘッジプレミアム、為替ヘッジコストとは異なります。

対象通貨の為替ヘッジプレミアム/コスト(シミュレーション)と為替レート推移



・為替ヘッジプレミアム/コストは対象通貨と米ドルの短期金利の金利差(プラスが為替ヘッジプレミアム、マイナスが為替ヘッジコスト)相当。
 ・対象通貨と米ドルの短期金利:米ドル、円、ユーロ、豪ドルは1ヵ月LIBOR(DataStreamのデータに基づき作成)、ブラジルレアル、南アフリカランド、トルコリラ、中国元、インドネシアルピアはJPMorgan ELMi+の利回り(Bloombergのデータに基づき作成)。
 ・資源国バスケット通貨(合成通貨値)は豪ドル、ブラジルレアル、南アフリカランドの各変動率の平均を指数化(2009年4月28日=100)したものです。
 ・JPMorgan ELMi+とは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している新興国の現地通貨建ての短期金融市場の収益率を表す指数で、主に新興国の為替のフォワード取引等をもとに算出される指数です。
 ・為替は、ブラジルレアル、中国元についてはシティバンクの公表レートを、トルコリラについてはゴールドマン・サックス証券株式会社の公表レートを、それ以外の通貨については三菱東京UFJ銀行発表の対顧客直物電信売買相場の仲値(TTM)をそれぞれ使用しております。

JPMorgan EMBIグローバルダイバーシファイドは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。
 JPMorgan ELMi+は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

三菱UFJ新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

運用担当者コメント

債券市況

【エマージング債券市況は上昇】

1月(2011年12月29日～2012年1月30日)のエマージング債券市況をJPモルガンEMBIグローバル・ダイバーシファイド(ドルベース)でみると、前月末に比べ1.43%の上昇となりました。米国債券市況は、12月のISM(米供給管理協会)製造業景気指数や雇用統計などの主要経済指標が事前予想を上回ったことを受け、米景気に対する楽観的な見方が広がったほか、EFSF(欧州金融安定基金)のレグリングCEOが同基金の融資能力について最大4倍に引き上げることが可能と発言したことなどを受け、資金の避難先としての米国債の需要が後退し、下旬にかけて軟調に推移しました。しかし、24-25日に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において、「異例の低金利が正当化される期間」が従来の2013年半ばから2014年末まで延ばされたほか、追加緩和策の導入も示唆されたことを受け、月末にかけては一転して上昇しました。月を通じてみると、中期ゾーンを中心に金利が低下(債券価格は上昇)しました。一方、エマージング債券市況は、投資家のリスク許容度回復を背景に底堅く推移しました。エマージング債券市場のスプレッド(米国債に対する上乗せ金利)は縮小し、3.96%(前月末比0.07%の縮小)となりました。国別に債券市場の動向をみると、アルゼンチン、ベネズエラ、エジプト、カザフスタン、ロシアなどが市場平均を上回るパフォーマンスとなった一方、イラク、パキスタン、メキシコ、ペルー、トルコなどが市場平均を下回るパフォーマンスとなりました。エジプトについては、ムバラク前政権時代からの独裁体制を引きずるものとして早期撤廃要求の強かった非常事態令について、同国を暫定統治する軍最高評議会が約30年ぶりに原則解除すると発表したことなどが好感され、市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。ロシアについては、3月4日に実施される同国の大統領選挙においてプーチン首相が第1回投票で過半数を獲得し、決選投票をせずに勝利する見込みと最新の世論調査で明らかになったことを受け、政治的混乱は避けられるとの見方から市場平均を上回るパフォーマンスとなりました。一方、イラクについては首都バグダッドにおいてイスラム教シーア派住民の居住地区を狙った連続爆弾テロがあり、多数の死傷者が出るなど地政学的リスクの高まりが嫌気され、市場平均を下回るパフォーマンスとなりました。トルコについては、同国の12月CPI(消費者物価指数)が前年同月比10.45%上昇と2008年11月以来、約3年ぶりの伸び率となったことやIMF(国際通貨基金)が同国の2012年の経済成長率について0.4%と前年の8.3%成長から大幅に鈍化する試算を発表したことなどが嫌気され、市場平均を下回るパフォーマンスとなりました。

運用状況

【米ドルコース以外の各通貨コースの基準価額は上昇】

当ファンドシリーズでは、外国投資信託への投資を通じてエマージング債券を高位に組み入れた運用を行いました。エマージング債券市況が上昇したことに加え、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド、トルコリラコース等については対象通貨に対する円安が進行したことから、それらの通貨コースの基準価額(分配金再投資ベース)は上昇しました。ユーロ、中国元については、対象通貨に対する円高の進行がマイナスに影響し基準価額の上昇は小幅となりました。米ドルコースについては、円高米ドル安の影響が相対的に大きかったことから基準価額は下落しました。当ファンドシリーズが投資する外国投資信託のエマージング債券運用における国別配分戦略では、ロシアへの積極姿勢などが基準価額にプラスに寄与しました。

	円コース	米ドルコース	ユーロコース	豪ドルコース	ブラジルリアルコース	南アフリカランドコース	トルコリラコース	中国元コース	インドネシアルピアコース	資源国バスケット通貨コース
基準価額	11,076円	8,784円	9,087円	11,426円	9,300円	9,857円	7,600円	9,450円	8,920円	9,273円
月次騰落率	1.30%	-0.36%	1.13%	4.24%	6.51%	3.98%	7.69%	0.92%	2.71%	4.88%
当月分配金	65円	60円	50円	200円	200円	110円	120円	20円	70円	80円

・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

今後の運用方針

【外部環境の悪化がエマージング諸国へ及ぼす影響について注視しつつ、国別選択を一層重視】

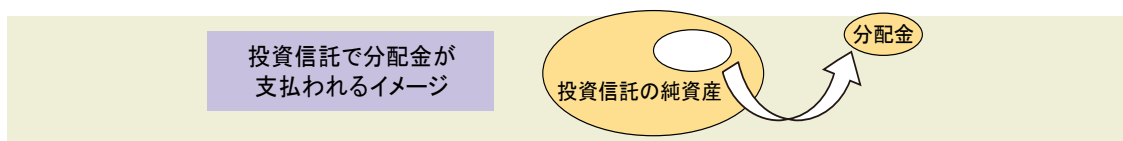
先進国とエマージング諸国間で、経済成長の「多速度化」が進展するとみています。すなわち、先進国は依然として高失業率、レバレッジ解消、高い公的債務水準に直面していることから国内需要の回復が困難であり、低成長がしばらく続くとみている一方、エマージング諸国は政府の債務水準が低く、経済が依然として発展段階にあることから今後の成長余地が大きく、中長期的にみれば高成長を達成すると考えています。また、エマージング諸国では、経済成長の軸足を輸出主導型から内需主導型へと徐々に切り替えており、国内貯蓄の積み上がりにより国内で資金調達をしやすいことなどから、外部環境への依存度が低くなってきています。そのため、以前と比較するとエマージング諸国は先進国の景気減速といった外部環境からの影響を受け難いものとみられます。足下では先進国において一部で景気の改善傾向がみられますが、欧州周辺国の債務問題については依然として予断を許さない状況が続いており、外部環境の悪化がエマージング諸国に及ぼす影響については注意する必要があります。しかし、先進国と比較するとエマージング諸国の政策金利は高水準であるほか、政府が抱える累積債務も相対的に低水準であり、金融・財政政策による対応の余地が大きい点は今後の経済的ショックに対する耐性の観点でプラス材料だといえます。ただし、上述の見通しは必ずしも全てのエマージング諸国に当てはまるわけではありません。欧州周辺国の債務問題に代表されるように、投資家がソプリンリスク(政府債務の信用危機)に対する意識を高めている環境下、各国の財政基盤などファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)の分析に重点を置いた投資対象国の選別が一層重要になると考えています。具体的には、財政状態の改善が続き、潤沢な外貨準備高を有するブラジルやロシアといった国々に対して積極姿勢とします。一方、ファンダメンタルズが脆弱で、かつ対外資金への依存度が高いハンガリーやウクライナといった国々は、外部環境からの影響を受けやすい点も考慮し、消極姿勢とします。また、財政問題が懸念される欧州周辺国と貿易や金融面でつながりの強い国々についてもその動向を注視します。

コメントは作成時点のものであり将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変化または運用成果等を保証するものではありません。なお、市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

収益分配金に関する留意事項

●分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



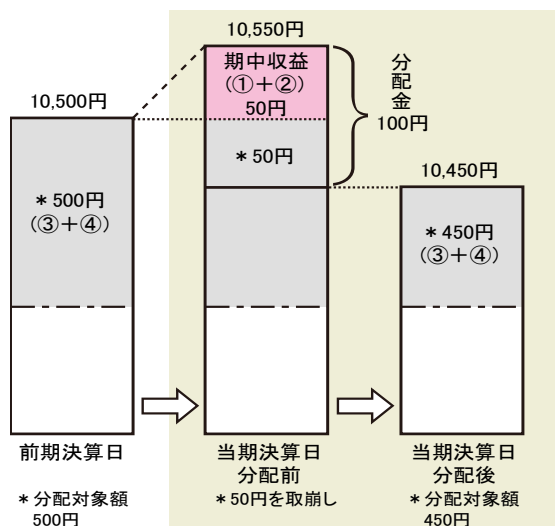
●分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。

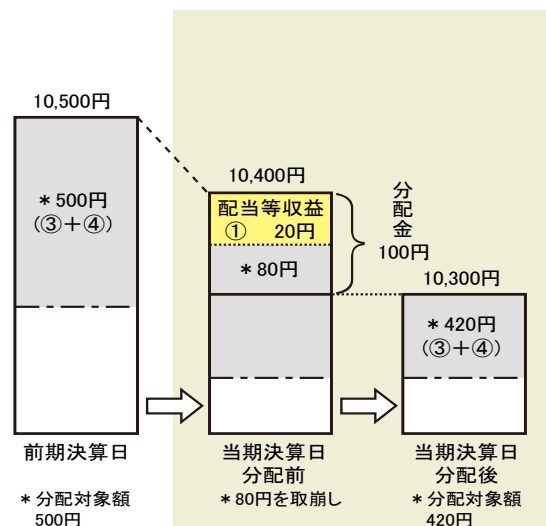
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



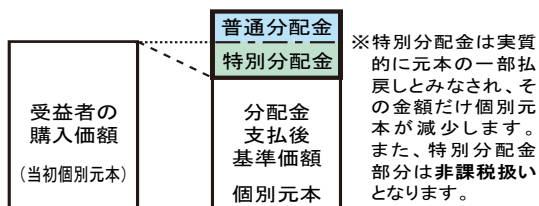
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

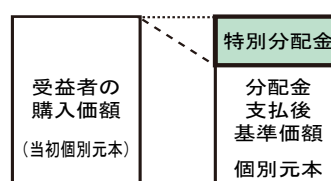
収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

●受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



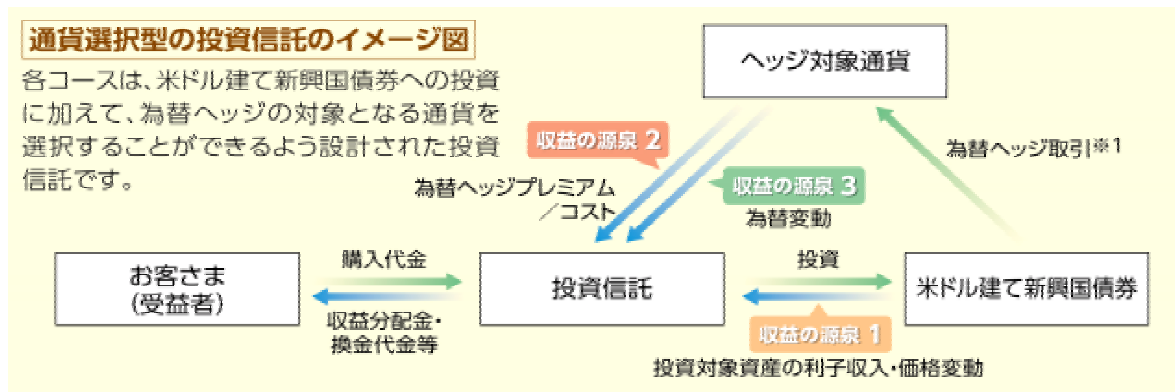
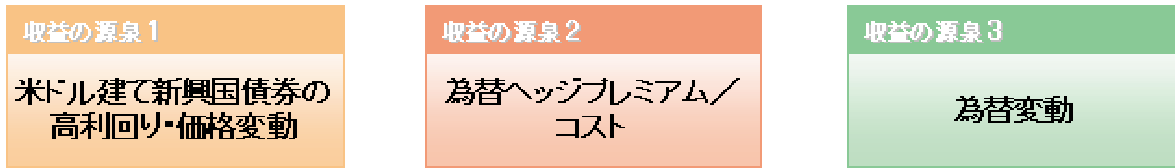
普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

特別分配金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、特別分配金の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

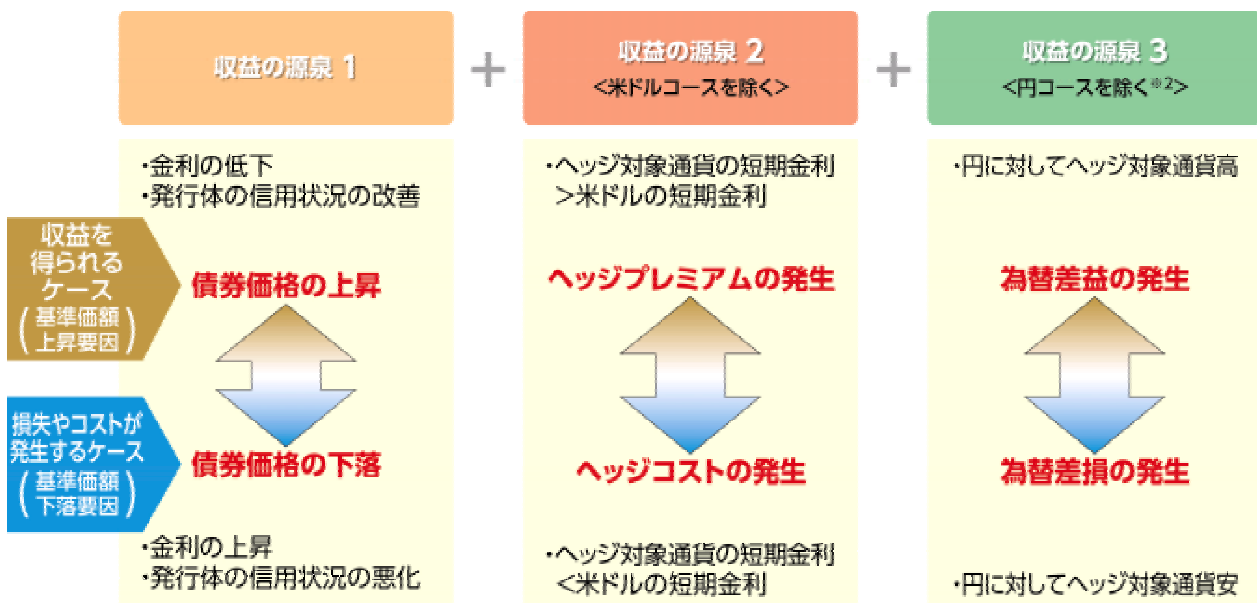
● 通貨選択型ファンドの収益のイメージ

各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



※1 米ドルコースでは、原則として為替ヘッジ取引を行いません。したがって米ドルの為替変動の影響を受けます。

収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。



※2 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の10本の通貨コースとマネープールファンドの11本のファンドで構成される投資信託です。

- | | | |
|-----------------------|---|------------------------|
| ＜円コース＞（毎月分配型） | ／ | ＜米ドルコース＞（毎月分配型） |
| ＜ユーロコース＞（毎月分配型） | ／ | ＜豪ドルコース＞（毎月分配型） |
| ＜ブラジルリアルコース＞（毎月分配型） | ／ | ＜南アフリカランドコース＞（毎月分配型） |
| ＜トルコリラコース＞（毎月分配型） | ／ | ＜中国元コース＞（毎月分配型） |
| ＜インドネシアルピアコース＞（毎月分配型） | ／ | ＜資源国バスケット通貨コース＞（毎月分配型） |
| ＜マネープールファンド＞ | | |

「10本の通貨コース」について

■ファンドの目的

各コースは、米ドル建ての新興国債券を実質的な主要投資対象とし、高い利子収入の獲得と中長期的な信託財産の成長をめざします。

■ファンドの特色

- ・各コースは、主として円建ての外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興経済国の国債や政府機関債等を実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドへの投資も行います。（ファンド・オブ・ファンズ方式）
- ・各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国債券に投資を行う一方で、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替ヘッジ（米ドルコースを除く）を行います。これにより、「為替ヘッジプレミアム/コスト」、「為替差益/差損」が生じます。
- ・各コースの対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替ヘッジプレミアム」の獲得が期待できます。一方、各コースの対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替ヘッジコスト」が生じます。
- ・為替ヘッジ取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF（ノン・デリバラブル・フォワード）取引」を利用する場合があります。
- ・各コースの基準価額は、為替相場が各コースの対象通貨に対して、円高方向に進んだ場合には、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。なお、円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- ・資源国バスケット通貨コース（毎月分配型）においては、3通貨（豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド）への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。
- ・各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をピムコジャパンリミテッドに委託します。
- ・各コースは、原則として毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ※販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

＜主な投資制限＞

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

「マネープールファンド」について

■ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

■ファンドの特色

- ・ファミリーファンド方式によりマネー・マーケット・マザーファンドを通じて、わが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保をめざします。
- ・毎年4・10月の各20日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

＜主な投資制限＞

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

■各ファンド間でスイッチングが可能です。

- ・マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各コースからのスイッチングの場合に限定します。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。》

委託会社（ファンドの運用の指図等） 三菱UFJ投信株式会社
 受託会社（ファンドの財産の保管・管理等） 三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社（購入・換金の取扱い等） 後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 … 三菱UFJ投信株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第404号
 加入協会 （社）投資信託協会
 （社）日本証券投資顧問業協会

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
投資リスク
■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けませんが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

各ファンド(マネープールファンドを除く)
市場リスク
(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

(為替変動リスク)
「円コース」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

「米ドルコース」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

「ユーロコース／豪ドルコース／ブラジルリアルコース／南アフリカランドコース／トルコリラコース／中国元コース／インドネシアルピアコース」

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替ヘッジを行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

「資源国バスケット通貨コース」

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替ヘッジを行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替ヘッジを行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

為替取引に関する規制がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、ヘッジコストが生じる場合があります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリーリスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
投資リスク
マネープールファンド
市場リスク

(価格変動リスク)

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

■その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
手続・手数料等
■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限りです。 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	各ファンド(マネープールファンドを除く) ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2012年の該当日は1月16日、2月20日、4月6日、5月28日、7月4日、9月3日、11月12日、11月22日、12月25日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	各ファンド(マネープールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。 マネープールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	円コース(毎月分配型)／米ドルコース(毎月分配型)／ユーロコース(毎月分配型)／豪ドルコース(毎月分配型)／ブラジルリアルコース(毎月分配型)／南アフリカランドコース(毎月分配型)／トルコリラコース(毎月分配型)／マネープールファンド 2019年4月20日まで(2009年4月28日設定) 中国元コース(毎月分配型)／インドネシアルピアコース(毎月分配型) 2019年4月20日まで(2010年5月6日設定) 資源国バスケット通貨コース(毎月分配型) 2019年4月20日まで(2011年1月20日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合および各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。
決算日	各ファンド(マネープールファンドを除く) 毎月20日(休業日の場合は翌営業日) マネープールファンド 毎年4・10月の各20日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネープールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネープールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

各ファンド(マネーボールファンドを除く)
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	購入価額 × 3.15% (税抜 3%) (上限) 販売会社にご確認ください。
--------	---

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年1.596% (税抜 年1.52%) ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り。)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ
手続・手数料等
■ファンドの費用・税金
・ファンドの費用
【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】
マネープールファンド
お客さまが直接的に負担する費用
購入時

購入時手数料	ありません。
--------	--------

換金時

信託財産留保額	ありません。
---------	--------

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用
保有期間中

運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額 × 年0.5775%～0.0105% (税抜 年0.55%～0.01%) 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
------------------	---

その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用等を信託財産からご負担いただきます。 これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
----------------	--

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます。)は、その都度信託財産から支払われます。

※運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当資料のご利用にあたっての注意事項等

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》

お客様専用
フリーダイヤル  **0120-151034**
受付時間／9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.mufig.jp/>
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>
基準価額・分配金をメール配信(*メール配信対象外ファンドもあります。)



販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ 新興国債券ファンド 通貨選択シリーズ

商号	登録番号等	加入協会
株式会社 阿波銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 伊予銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第2号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会
株式会社 紀陽銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第8号	日本証券業協会
株式会社 山陰合同銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関 中国財務局長(登金)第1号	日本証券業協会
株式会社 滋賀銀行 (一部コースのみ取扱)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第11号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第10号	日本証券業協会
株式会社 十六銀行 (一部コースのみ取扱)	登録金融機関 東海財務局長(登金)第7号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会
中銀証券株式会社	金融商品取引業者 中国財務局長(金商)第6号	日本証券業協会
株式会社 南都銀行 (一部コースのみ取扱)	登録金融機関 近畿財務局長(登金)第15号	日本証券業協会
八十二証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第21号	日本証券業協会 / 社団法人日本証券投資顧問業協会
株式会社 百十四銀行 (一部コースのみ取扱、インターネット専用)	登録金融機関 四国財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会
株式会社 三菱東京UFJ銀行(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座でも取扱っております)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関 関東財務局長(登金)第33号	日本証券業協会 / 社団法人金融先物取引業協会
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号	日本証券業協会 / 社団法人日本証券投資顧問業協会 / 社団法人金融先物取引業協会 / 一般社団法人第二種金融商品取引業協会